

『企業価値評価第6版』下巻 正誤表

ページ	箇所	現状	修正
15	図表18-8	最後の行「正味繰越税金資産」	「正味繰延税金資産」
17	図表18-9	注釈1「事業にかかる繰延税金負債および正味の事業にかかる繰延税金資産は……」	「正味の事業にかかる繰延税金負債は……」
		注釈2「非事業項目にかかる繰延税金負債および正味の非事業項目にかかる繰延税金負債は……」	「正味の非事業項目にかかる繰延税金負債は……」
24	図表19-1	会計上の損益計算書の「減価償却費」「のれん代」「のれん代の評価損」「仕掛研究開発費」	「無形固定資産の償却」「のれん代の減損」「無形固定資産の減損」「偶発対価費用」
31	図表19-4	「平均訴訟費用」	「平均事業再編費用」
35	図表19-6	2年目の営業利益「155.8」	「115.8」
		貸借対照表の負債の1行目の「返品準備金」と2行目の「工場閉鎖準備金」	1行目「工場閉鎖準備金」、2行目「返品準備金」（表中数字はママ）
36	図表19-7	「投下資産の調整」	「投下資産の検証」
37	図表19-8	「パネルC:負債勘定の変化」	「パネルC:損益計算書」
37	最後の1行	「パネルBでは、工場閉鎖準備金が前年度末の残高の10%として計算され、」	「パネルBでは、工場閉鎖準備金は前年度末の残高から10%で増加し、」
38	図表19-9	「事業からのフリー・キャッシュフローの調整」	「事業からのフリー・キャッシュフローの検証」
61	図表20-9	「加算：純期間年金費用（利益）」の下の項目見出しがブランク	「減算：勤務費用」
67	2行目	またはある企業の「売上高」の……	「営業利益」
67	図表21-1	図表見出しにある「正味投下資産」と表中の項目見出しにある「純投下資産」	いずれも「正味投下資産」
68	中段	このことは、あるビジネス（企業）の「売上高」が……	「営業利益」
69	中段	「たとえば2年目を見てみよう」	「たとえば3年目を見てみよう」
69	図表21-2	図表見出し「収益が……」	「キャッシュフローが……」
72	図表21-3	表見出し「CFRO ¹ 」	「CFROI ¹ 」
75	小見出し	「事例：研究開発費の資本への計上」	「事例：研究開発費の資産計上」
75	図表21-5	「3期で固定」	「売上高の3分の1で固定」
75	下から6行目	「研究開発（R&D）費は売上高の20%程度である」	「研究開発（R&D）費は売上高の20%+固定2000万ドル程度である」
76	3行目	「累積償却後の過去の研究開発資産の費用分を、投下資産を上方修正する」	「研究開発資産への投資金額から累積償却額を控除した純額分だけ投下資産を上方修正する」
77	2行目	「総資本は20億7000万ドルに達する」	「投下資産（調整後）は20億7000万ドルに達する」
80	図表21-10	「R&D=売上高の10%」の6年が13.7と表示されているが、棒グラフの長さが4年の15.9よりも長い	正しくは13.7。棒グラフの長さが間違っている
89	図表21-15	図表見出し「ダーバーシ社：収益で縮小・拡大計算した経済的利益」	「ダイバーシ社：売上高1ドル当たりの経済的利益」
110	中段	「実質ベースのキャッシュフローは毎年3%で増加し、名目ベースのキャッシュフローはそれにインフレーションを加えた割合で増加していく。」	「名目キャッシュフローは、実質の増加2.5%にインフレ率を加味した率で増加していく。」
117	中下段の式の説明	「 β_{jA} 、 β_{jB} = r_G = グローバル市場ポートフォリオGに対するリターン」	英原文も含めて、「 β_{jA} 、 β_{jB} =」は削除
129	図表23-5	「対米ドル実質実効為替レート」	「実質実効為替レート」